



ユネスコスクール便り

令和元年10月11日
大牟田市I社スクール
担当者通信

№80

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成

「SDGsおおむたマップ」～未来への虹のかけ橋 SDGs～

各学校・学級に掲示されている「SDGs おおむたマップ」。先生方も子ども達と一緒にご覧になっていることと思います。このマップには、大牟田市の全ての市立学校のESDの取組と目指すSDGsが掲載され、各校の特色とユネスコスクールのまち・大牟田市の姿がひと目で分かるようになっています。「SDGsってなあに?」という説明と合わせて見ると、それぞれの取組の価値がいっそうよく分かります。マップによって、子ども達が自分達の行動の価値を捉え直すとともに、新たな行動へのヒントも得られることと思います。

SDGsを「未来への虹のかけ橋」とイメージし、未来に夢を描く子ども達、ともに力を合わせて行動する子ども達が育っていくよう、このマップを活用していきましょう。

特色ある実践事例の紹介

「大正フラワータウンプロジェクト」 ～花でつながるあたたかいまちづくり～ 大正小学校

大正小学校では「大正フラワータウンプロジェクト」に取り組んでいます。子ども達が地域の方と一緒にまちに花を植えて世話をしたり、学校で育てた花苗をお世話になっている方に届けたり、地域の方に「子ども花屋」を開いて販売したりする活動をおこなっています。また、折り紙の花で学校や子ども食堂を飾ったり、「花の折り紙教室」を開いたりするなど、花でつながるあたたかいまちづくりの活動を広げています。6月15日(土)には、「フラワーフェスティバル」を開き、花に関する催しでたくさんの地域の方と交流しました。



地域の「ひと」「もの」「こと」から育てる ESDを通して 甘木中学校

甘木中学校では、達成を目指すSDGsとして「3:すべての人に健康と福祉を」、「11:住み続けられるまちづくりを」の二つを設定しています。

第1学年では、「大牟田の世界遺産」という題材を通して、歴史・人権を中心に様々な視点から学習を行い、大牟田のよさを語りつぎ、これからの大牟田について自分ができることを考えていきました。第2学年では、職場体験を通して、地域の働く方々から働くことの意義、社会生活に必要なマナー等を学び、これからの自分たちに必要なこと、また地域で働く喜びを知ることができました。第3学年では救命救急講習で、心臓マッサージや人工呼吸の方法、AEDの使い方を学習し、大切な人や家族の命を守る技術、そして、生命尊重の意識を育てることができました。



世界遺産学習「～国際協働学習 アートマイル 壁画作成～」を通して 大牟田中央小学校

アートマイルとは、「対話」「協働」「共創」で『未来を創る力』を育てる国際協働学習です。多様な文化を持つ海外の子供達と、共通のテーマについて対話的・協働的に話し合いを重ねて学び合い、学習の成果として壁画を共同制作するプロジェクトです。本校では、ペルーのラ・ウニオン校とTV会議で交流し、お互いの世界文化遺産をテーマに壁画の作成を進めていくことに決まりました。子ども達は、壁画だけでなくTV会議を通じたフォーラムで日本文化を紹介したり、手紙をやりとりしたり、心を込めたプレゼントを贈ったりしました。この活動で「自分達の未来は、世界の仲間と一緒に創る」という意識が生まれる学習となりました。

